

# 論文・学会発表・院内研修 記録集

2009（平成21）年度版

「人にやさしく」

この記録集は、院内研修用に作成したものです。  
個人情報保護、及び著作権により院外持出禁止

発行日 2010（平成22）年 5月 1日

〒596-0825 岸和田市土生町77番地

医療法人 聖志会 渡辺病院

発刊に際して

医療法人 聖志会 渡辺病院  
理事長・院長 渡辺浩年

このたび、医療法人聖志会渡辺病院の論文・学会発表・院内研修記録集を発刊することとなりました。

思い返せば、私が渡辺病院の院長に就任したころから、看護部の有志を中心として勉強会が開かれていました。

6年前、ISO9001品質マネジメントシステムを取り入れ、院内研修は有志の勉強会ではなく、病院全体で計画的に実施することになりました。その後、職員が看護・介護の学会に積極的に参加・発表するようになりました。

また、専門性のスキルアップを目指し、「日本認知症ケア学会」の「認知症ケア専門士」に挑戦・取得することを病院あげて支援することにいたしました。現在では、看護部のみならず、医師・理学療法士・作業療法士・薬剤師などを含む各部署から、64名もの職員が「認知症ケア専門士」資格を取得するまでになりました。（一つの施設における資格取得者数は全国一）

おかげさまで、院内研修の回数も増え（月10回程度）、発表もパワーポイントを使い、より分かりやすいものとなり、毎回その発表内容には感心させられております。

「渡辺病院認知症ケア懇話会」では、日本認知症ケア学会の認知症ケア専門士単位認定事業として、院外の皆様にもご参加いただいております。

その他にも、以前から、外部研修の一環として毎年数名の職員をオーストラリアでの病院研修に派遣し、国外の看護・介護にも接してもらっています。

かねてからの私の思いを総務課に伝えると、数年前から発表資料をパソコンで管理しているので、DVDでの記録集発刊なら比較的容易にできるとのこと、今回の発刊に至りました。私自身も職員の研修発表現場にほとんど出席しており、そのときの情景がよみがえり作成してよかったと思っております。この資料により、当院職員の創意工夫や看護・介護に対する熱意を感じ取っていただけたら幸いです。

2010（平成22）年5月1日

発刊に際して

医療法人 聖志会 渡辺病院  
診療部長 鬼頭 ひろ志

私が医療法人聖志会の泉州病院に精神科常勤医師として勤務して早5年間あまりが経過し、この間、理事長である渡辺浩年先生の強力なリーダーシップの下に、平成17年4月に認知症治療専門病院への転換（泉州病院から渡辺第二病院への名称変更）、平成20年4月に渡辺病院（内科）、渡辺第二病院（精神科）の統合と、振り返ってみれば、あっという間に過ぎ去ったようにも思われます。

認知症疾患の治療・看護・介護に関しては、元々泉州病院時代から認知症疾患治療病棟が2病棟あったとはいえ、日本全体で見ても、認知症疾患治療を専門としている病院はほとんどなく、BPSDに対する薬物療法、身体合併症の治療、認知症看護・介護など、すべてが手探りの試行錯誤の状態でした。

それでもこの間、渡辺理事長の経営方針によりISOを導入し、認知症看護認定看護師を中心に、医局、看護、介護スタッフなどが協力して、日常の職員のスキルアップ研修や全体研修、認知症ケア専門士やオムツフィッターの養成、認知症ケア懇話会の定期的な開催、認知症関連学会での発表など教育研究分野にも力を入れ、職員全体の知識・技術の向上をめざしてきました。

この度、このような日常的な経験の積み重ねや発表を、記録集としてまとめることとなりましたが、これまで治療・看護・介護など各分野においてお世話になりました皆様方に感謝し、この業績集が、我が国で今後30年後には倍増すると言われている認知症患者さんの治療や看護・介護の進歩、発展のために少しでも役立つことを願い、この「論文・学会発表・院内研修記録集」の発刊のご挨拶とさせていただきます。

2010（平成22）年5月1日

発刊に際して

看護部長 田中 シヅ子

H20年4月、医療法人聖志会が運営する泉州病院と渡辺病院が統合し、認知症病棟、療養型医療病棟、介護病棟を合わせると全10病棟・534床を有する病院となりました。

現在私たち看護部は、病院理念の「人にやさしく」をモットーに患者様のニーズを十分に組み入れた質の高い看護、介護を提供できるように取り組んでいるところです。

それというのも約10年前に、一人の医師から「看護部は少々勉強不足では？」とのアドバイスを頂きました。そこで私たちは、高齢者医療が大きく変わろうとしている中で、地域の皆様に選んで頂ける病院になるにはどうすることが良いのかを改めて考えなおし、患者様に満足して頂けるよう、サービスの向上に看護師、介護士が業務の中で何を改善し、いかなる対策をとるべきかを検討しました。

大切な患者様の看護経過を症例発表することが、職員間の情報交換や個々の職員のスキルアップに反映するのではないかと思い、年間計画を立てて週に1回、30分程度の発表をすべての病棟からしてもらいました。また、3年前からは認知症ケアに重点を置き、診断・治療に関しては医局に講師をお願いし、また看護に関しては認知症看護認定看護師を中心に各病棟からの症例発表を、院内研修という形で月に10回程度実施してきました。

その結果、認知症ケア専門士64名、オムツフィッター3級50名と資格取得者も増え、日本認知症ケア学会、日本精神科看護技術協会、日本老年看護学会等でも論文発表ができるようになり、全体的に個々の職員のスキルも向上してきたのではないかと考えております。

今回、この数年間の実績を整理することとなりましたので、改めて過去を振り返り、更に新しい展開へと成長していければと思っております。また皆様にとって一部興味深い資料も含まれているのではと思ひ、一度ご覧くださればありがたく思います。今後も継続してスキルアップに努め、地域の皆様に選んで頂ける病院を目指し努力して参りますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

2010年(平成22年)5月1日

発行に際して

医療法人 聖志会 渡辺病院

教育担当看護師長・認知症看護認定看護師

仲 由紀子

私は、認知症看護認定看護師として、「実践」「教育」「相談」の活動を施設、および地域で少しずつ進めてまいりました。

1年前より看護部の教育担当者として、「新人研修」から始めていくために、看護部長をはじめ周囲の協力を得て、評価ができるところまで到達することが出来ました。そして、昨年より私たちが専門としている認知症医療のスキルアップを図るため、新たなサポートチームを結成しました。認知症ケア専門士を中心とした「認知症ケアサポートチーム」です。病棟では様々な症例があり、手さぐり状態の認知症ケアには認知症分野に十分な知識を持ったスタッフの支援が必要と考えます。病棟単位で「リンクナース」としての活動、院内研修における講座を主とした活動をしております。また、認知症ケア専門士の資格を取得したいと希望するスタッフのために「受験対策講座」も始めました。専門性のあるスタッフを育て、個人のモチベーションを維持していきたいと考えています。

スキルアップの目的は、「自信」「出会い」「気付き」「充実感」といったものを手に入れることで、目の前に広がる世界が変わってくるのだと思います。しかし、現在の方法が、すべてのスタッフの自信やき気づきにつながっているとは言えません。研修の参加が少ないスタッフもいます。その原因を考えると、一方的な、いわゆる「聴いているだけ研修」だからではないかと私は考えます。演習や実習を取り入れた研修では、「わかりやすかった」という声が多く聞かれました。現場で働く私たちは、わかりやすく実際に自分で感じとれることが必要なのです。今後はスタッフの要望にそった研修をプラスしていく予定です。

2010（平成22）年5月1日

## 医療法人 聖志会 渡辺病院の概要

〈 資料 2010年 4月 〉

開設者	医療法人聖志会
法人設立	1958(昭和33)年10月10日
病院開設	1965(昭和40)年 5月21日
代表者	理事長 渡辺浩年
管理者	院長 渡辺浩年
所在地	大阪府岸和田市土生町77番地
TEL	072-426-3456
FAX	072-426-7474
ホームページ	<a href="http://www.seishikai.or.jp">www.seishikai.or.jp</a>
診療科目	精神科・内科・皮膚科・泌尿器科・眼科 心療内科・神経科・リハビリテーション科・歯科
病床数	精神336床、療養198床(内、介護104床)計534床
延べ建築面積	19,938㎡
沿革	
1958(昭和33)年10月	「医療法人聖歯会」設立
1964(昭和39)年 8月	「医療法人聖志会」に改称
1965(昭和40)年 5月	「医療法人聖志会泉州病院」開設 106床 アルコール依存症、一般精神疾患の治療を開始
1976(昭和51)年11月	336床に増床 アルコール依存症、一般精神疾患に加えて 認知症の治療を開始
1980(昭和55)年11月	旧「医療法人聖志会渡辺病院」設立 198床
1986(昭和61)年 4月	C棟新築(167床)
1994(平成 6)年12月	精神科作業療法施設認可
1999(平成11)年 4月	D棟新築(169床)
2004(平成16)年12月	ISO9001:2000 認証を取得
2005(平成17)年 4月	「泉州病院」を「医療法人聖志会渡辺第二病院」に改称 認知症の治療に特化
2006(平成18)年 2月	理事長渡辺浩年が「渡辺第二病院」の院長を兼務
2008(平成20)年 4月	旧「渡辺病院」と「渡辺第二病院」を統合し 現「医療法人聖志会渡辺病院」設立 534床 合併症の対応等認知症の治療体制を強化
2010(平成22)年 4月	「人にやさしく」を医療理念とし 60余名の「認知症ケア専門士」を配して 新たな認知症医療を展開中

## 《 論文・学会発表 》

期間 H2009/4/1～2010/3/31

作成(発表)日	テーマ	作者(敬称略)	発表場所または掲載誌等
2009/7/11	認知症病棟におけるアルツハイマー型 認知症のコミュニケーションの分析	中野公美 正田奈穂 貴志隆子	第6回渡辺病院ケア懇話会
2009/7/11	認知症病棟におけるアルツハイマー型 認知症のコミュニケーションの分析	正田奈穂	第6回渡辺病院ケア懇話会
2009/11/13	当院における認知症患者の BPSD に対 するデカン酸ハロペリドール 50mgの有 効性に関する調査	當山美奈子	第37回日本精神科病院協 会精神医学会
2010/3/13	認知症ケアとドネペジル	當山美奈子	第8回渡辺病院ケア懇話会
2010/3/13	認知症ケアと抑肝散	當山美奈子	第8回渡辺病院ケア懇話会

## 《 院内研修 》

期間 H2009/4/1～2010/3/31

作成(発表)日	テーマ	作者 (敬称略)	部署	備考
2009/4/9	認知症のやさしい知識24 失語症	稲山靖弘	医局	
2009/4/21	ご遺族への対応	外部講師	外部	公益社
2009/4/21	経口水分摂取の工夫	南恭子 南時枝	診療部	
2009/4/22	軟膏剤	香月正憲	診療部	
2009/4/27	摂食嚥下 1	栗林美貴子	診療部	
2009/5/7	認知症のコミュニケーション	中川真友子	看護部	
2009/5/9	認知症のやさしい知識25	稲山靖弘	医局	
2009/5/12	患者様の転落から学んだ事	細川美和 七野朱美	看護部	
2009/5/13	行動制限について	喜多ひろみ	看護部	全体研修会
2009/5/14	食事介助法の実習	栗林美貴子 仲由紀子 西村裕子 西村夏代	診療部	
2009/5/20	認知症ケア専門士受験講座基礎 2	杉野美穂	看護部	
2009/5/26	接遇	介護士	A3	
2009/5/30	認知症のやさしい知識26	稲山靖弘	医局	
2009/6/5	子どもの歯ってなあに？	渡辺史子	理事	
2009/6/10	防災訓練について	竹下武		全体研修会
2009/6/10	認知症ケア専門士受験講座各論 2	西村裕子	看護部	
2009/6/23	看護・介護者の健康管理について	南恭子 小松美貴子 木岡美樹 田中とし子	看護部	
2009/7/1	認知症ケア専門士受験講座総論 2	喜多ひろみ	看護部	
2009/7/4	認知症のやさしい知識 27	稲山靖弘	医局	
2009/7/6	聞き事から始まる高度認知症	中野公美 正田奈穂 貴志隆子	看護部	
2009/7/8	認知症ケア専門士受験講座社会資源 2	吉田和代	看護部	



作成(発表)日	テーマ	作者 (敬称略)	部署	備考
2009/7/13	認知症ケア専門士受験講座社会資源3・4	谷藤晴美	看護部	
2009/7/14	ターミナルケアにおけるデスカンファレンスの効果	中川真友子 喜多ひろみ	看護部	
2009/7/21	口腔ケアと食事摂取	芳本玲子 杉浦和美	看護部	
2009/7/22	結核について	内藤丈詞	医局	全体研修会
2009/7/29	簡易懸濁法	猪井直樹	診療部	
2009/7/30	簡易懸濁法 NS	山本具美	看護部	
2009/8/4	スキンケアについて①	神田若菜	看護部	
2009/8/7	認知症のやさしい知識 28	稲山靖弘	医局	
2009/8/11	スキンケアについて②	神田若菜	看護部	
2009/8/18	個人情報保護の漏洩	渡辺浩年	診療部	全体研修会
2009/8/18	食事環境における取り組み	武田起代子 貴志隆子	看護部	
2009/8/19	「声かけと対応の大切さ」	椎木信江 権藤由貴江 井手かよ 前田千真里	看護部	
2009/8/28	認知症のやさしい知識29	稲山靖弘	診療部	
2009/9/1	心身に不安定な症例から学んだ事	西谷由紀 松浦満美 上田悦子 大坪由紀	看護部	
2009/9/4	認知症のやさしい知識 30	稲山靖弘	診療部	
2009/9/11	認知症のやさしい知識 31	稲山靖弘	診療部	
2009/9/15	炭とケアについて	田淵玲子 粟村夏美 原真琴	看護部	
2009/9/15	ブログからの個人情報漏洩	渡辺浩年	診療部	全体研修会
2009/9/15	医薬品安全使用について	香月正憲	診療部	全体研修会
2009/9/15	行動制限について	鬼頭ひろ志	診療部	全体研修会
2009/9/16	認知症看護①	仲由紀子	看護部	
2009/9/17	認知症ケア学会事例報告	南由加利	看護部	

作成(発表)日	テーマ	作者 (敬称略)	部署	備考
2009/9/30	病棟における誤薬の集計と分析	香月正憲	診療部	
2009/10/6	転倒転落の対応	宇良智子 林満代 橋本恵	看護部	
2009/10/14	ISOについて 1-③	竹下武	事務部	
2009/10/15	看護倫理 1	竹中なおみ	看護部	
2009/10/16	ファイブコグ実演	村田智恵・ 西幸宏	事務部	
2009/10/20	”つなぎ服がとれるまで”	秋本真由美 大和誠子 片山賀子 瀬良好美	看護部	
2009/10/20	接遇について 2	外部講師	外部	公益社
2009/10/21	認知症のやさしい知識 32	稲山靖弘	診療部	
2009/10/22	看護倫理 2	竹中なおみ	看護部	
2009/10/23	当院における通所リハの認知症予防 の実際	西幸弘	診療部	
2009/10/23	当院における認知症患者の BPSD に 対するデカン酸ハロペリドール 50mg の有効性に関する調査	當山美奈子	診療部	
2009/10/30	認知症のやさしい知識25	稲山靖弘	診療部	
2009/11/5	認知症看護②	仲由紀子	看護部	
2009/11/10	センター方式を利用してみて	西村裕子	看護部	
2009/11/11	臭いの管理法	稲山靖弘	診療部	全体研修会
2009/11/24	C ケアへの取り組み	酒谷綾乃	看護部	
2009/11/27	認知症のやさしい知識 33	稲山靖弘	診療部	
2009/12/4	認知症のやさしい知識 34	稲山靖弘	診療部	
2009/12/8	新人教育	水本美由紀	看護部	
2009/12/14	認知症予防に重点を置いたケアプラン の実際	村田智恵	ケアプランセンタ ーわたなべ	
2009/12/15	防災訓練について	竹下武	看護部	全体研修会
2009/12/16	認知心理学とヒューマンエラー	神田若菜	看護部	
2009/12/18	認知症のやさしい知識 35	稲山靖弘	診療部	
2010/1/12	オーストラリア研修	林満代	看護部	

作成(発表)日	テーマ	作者 (敬称略)	部署	備考
2010/1/19	2010 褥瘡について	若野司	診療部	全体研修会
2010/1/20	認知症のやさしい知識 36	稲山靖弘	診療部	
2010/1/21	PEG について	外部講師	外部	メディコン
2010/1/26	医療安全研修	藤原央子	看護部	
2010/1/27	認知症のやさしい知識 20	稲山靖弘	診療部	
2010/2/9	感染管理研修	鎌田和美	看護部	
2010/2/16	うがいと手洗いとマスク	西岡克泰	診療部	
2010/2/23	高カロリー-輸液 IVH 挿入時の介助	武田寿英子	看護部	
2010/2/24	認知症ケアとリスペリドン	稲山靖弘	診療部	
2010/2/25	認知症ケアとドネペジル	當山美奈子	薬局	
2010/2/26	認知症ケアと抑肝散	當山美奈子	薬局	
2010/3/3	認知症ケアと睡眠薬	稲山靖弘	診療部	
2010/3/10	個別性に対する取り組み	吉村美香	看護部	
2010/3/16	雇用(定年)延長について	渡辺浩年	理事長	全体研修会
2010/3/17	認知機能検査観察式	正田奈穂	看護部	
2010/3/18	当院での取り扱う DESIGN-R	若野司	医局	
2010/3/23	「座位の大切さ」	染川さゆり	看護部	
2010/3/25	認知症のやさしい知識 37	稲山靖弘	診療部	

医療理念 「人にやさしく」

- 品質方針
1. 医療及び介護サービスの提供を通して、社会に貢献する。
  2. 常に患者様の立場を考え、信頼に応えるサービスを提供する。

\* \* \* \* \* 編集後記 \* \* \* \* \*

「業績集を作成しよう」という話が出てきた時には、どれだけの資料を探さなければならぬのだろうかと不安がよぎりました。何とかパワーポイントのファイルを見つけてクリックしたら、そこからパソコンが動かないという現象も度々起こり大変苦労しました。

だんだんと資料が集まり形になってくると、ようやく私にも余裕が出てきました。それと同時に、当院の職員がこんなに多くの研究発表をされたものだと感心させられました。貴重な時間を費やして研究発表をされた皆様、本当にご苦労さまでした。皆様の発表によって今回の記録集ができましたことを感謝申し上げます。

今後とも、よりよい医療を目指して頑張りましょう。

看護総務課長 若松 厚志